

1 部

学習サポート

12～1月の各種申込み締切一覧

各種の申込みや提出の締切で主として12～1月のものを一覧にいたしました。通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着でお願いいたします。

■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
1月科目修了試験	レポート・申込みハガキ	1月5日(木)
冬期スクーリングⅢ (1/7～1/22)	申込みハガキ (With79号巻末)	12月12日(月)
冬期スクーリングⅣ (2/4～2/12)	申込みハガキ	1月12日(木)
オンデマンド・スクーリング12	申込みメール	1月18日(水)正午
特講・社会福祉学10 履修登録・スクーリング申込み	履修登録用紙	1月6日(金)

	受付日
レポート (レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)	12月14日(水) 12月22日(木) 1月5日(木) 1月11日(水) 1月19日(木) 1月26日(木)

■社会福祉援助技術演習・実習関連

	締 切 日	備 考
◆社会福祉援助技術演習Ⅰ 2単位めレポート ★社会福祉援助技術演習A 2・3単位めレポート (スクーリング事後レポート)	7～8月受講者 →12月24日(土) 12月受講者 →1月20日(金)	『レポート課題集 2011(1・2年次)』 「◆演習Ⅰ」 p. 125～131 「★演習A」 p. 190～194
◆社会福祉援助技術演習Ⅱ 2単位めレポート ★社会福祉援助技術演習B 2・3単位めレポート (スクーリング事後レポート)	1月20日(金)	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 「◆演習Ⅱ」 p. 54～58 「★演習B」 p. 119～125
◆社会福祉援助技術現場実習指導(事後) 課題3-① (実習事後レポート)	1/7受講希望者 →12月22日(木)	『レポート課題集 2011(3・4年次)』 「◆実習指導」 p. 59～64 「★演習C」 p. 126～133
★社会福祉援助技術演習C(C-1+C-2) スクーリング受講申込み (実習免除者・科目等履修生での 実習希望者)	12月22日(木)	
★社会福祉援助技術演習C(C-1+C-2) 1・2単位めレポート (スクーリング事前課題)	2/4・5受講希望者 →12月22日(木)	
★社会福祉援助技術演習C 3単位めレポート	10～11月受講者 →1月6日(金) 2/4・5受講希望者 →1月10日(火)	

■精神保健福祉援助演習・実習関連

	締 切 日	備 考
精神保健福祉援助演習 2 単位めレポート (スクーリング事後課題)	1 月20日(金)	『レポート 課題集 2011(3・4 年次)』 p. 75～82
精神保健福祉援助実習 課題 3－② (実習事後レポート)	2 / 4・5 受講希望者 →1 月16日(月)	『レポート 課題集 2011(3・4 年次)』 p. 83～97

■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締 切 日	備 考
介護実習事前事後指導 スクーリング受講申込み	1 / 7～9 受講希望者 →12月12日(月)	『レポート 課題集 2011(3・4 年次)』 p. 188～194
介護実習事前事後指導 1 単位めレポート (実習事前レポート)	1 / 7～9 受講希望者 →12月22日(木)	
教育実習・障害者(児)教育実習 誓約書・健康診断書・抗体検査 のコピー(・個人調査票のコ ピー) 提出	2 月実習開始者 →12月15日(木) 3 月実習開始者 →1 月15日(日)	※事前指導受講済者の み対象 ※抗体検査は数値だけ のものではなく、医 師による抗体を有す る旨の文言が入った ものであること。
障害者教育実習の事前・事後指導 事前指導スクーリング受講免除届	3 月受講希望者 →12月24日(土)	『レポート 課題集 2011(3・4 年次)』 p. 283～288

■その他

●心理学実験Ⅰ・Ⅱ

- ・単位認定レポート提出期限 12月24日(土)

●オンデマンド・スクーリング受講者

- ・オンデマンド10 試験レポート提出期限 12月24日(土)正午
- ・オンデマンド11 試験レポート提出期限 1月11日(水)正午

●3月卒業希望者

- ・初回レポート提出期限 1月11日(水)

●転学科希望届提出締切（4月生のみ） 1月20日(金)

●卒業研究

- ・提出締切（社会福祉学科・社会教育学科のみ） 12月19日(月)
- ・提出締切（福祉心理学科のみ） 1月31日(火)

通信教育部から

次号の『With』81号に掲載する皆様からのご投稿の原稿締切は1月7日で、発行予定日は1月25日です。ご投稿をお待ち申し上げます。

「老年心理学」の受講について

教員 MESSAGE

講師 吉川 悠貴

「老年心理学」を担当している、吉川です。

今回は、老年心理学を受講されているみなさんへ、レポート、テキスト、スクーリングなど、受講にまつわるについてお伝えしたいと思います。

まず、レポートについてです。みなさんの毎回の努力の結晶であるレポートを、楽しみに拝読させていただいています。ご苦勞の跡がうかがわれるレポートを読むと、私自身も初心に還る思いです。

以前本誌でも一度お示ししましたが、老年心理学のすべてのレポート課題は、①テキストや講義で学んだ内容を課題に沿って整理していただくことと、それをもとに②現実の具体的な生活との関わりや受講生の皆さんの意見・考察などを述べていただくこと、を意図した出題をしています。2点ともレポートを構成する重要な要素となりますが、私が特に評価の際に注目しているのは、②の生活との関わりや意見・考察です。その中でも、論述内容に、「主体性」と「具体性」がみられるかどうかをポイントにしています。

本科目でとりあげている、高齢期を理解するためのさまざまな内容は、現代においては、単なる教養として身につければよいという性質のものではないと私は考えています。わが国は、世界に類のない超高齢社会に突入しており、高齢期に関わるさまざまな課題は、多くの人にとって身近なものとなってきています。そのような時代に、本科目がみなさんにとって何らかの実践的な理解をしたり、ご自分の考えを整理したりする場になればと思います。またレポートはそのよい機会になるのではないかと考えています。

したがって、老年心理学のレポートを書かれる際に迷われた場合は、レポート課題の内容が、みなさんの生活、あるいはみなさんの身近な人の生活とどのように関わっているかを考えていただけるとよいのではないかと思います。またその中で、自分や自分の身近な人に関わる問題、自分たちの生きる社会の問題として、考察も行っていただければと思います。そうすると、出題意図の①テキストや講義内容の整理も、行いやすくなるのではないのでしょうか。

また、今年度は、本科目の持つ役割が増えたこともあり、新しい2冊のテキストを指定し直し、スクーリングも新しい構成で行いました。

テキストは、介護福祉士養成用のものではありませんが、本科目の内容をもっともよく説明するものとして選びました。私が執筆した部分はさておき、そのほかの執筆陣はいずれもこの分野をリードする先生方です。その意味では、レポート課題に直接関係する箇所以外も、みなさんの理解におおいに役立つものとなると思います。余裕がある方は、是非通読されることをおすすめします。

スクーリングにおいては、国の統計（人口動態統計や国民生活基礎調査など）の、最新の動向を話題にしながら進めています。今年度は、昨年行われた国勢調査の結果の詳細が間に合わず、少し古いデータを使いながらになってしまった部分がありましたが、今後より詳しく示していければと考えています。また、今年度のスクーリングから、認知症に関わる内容を、従来よりも増やしています。認知症に関わる課題は、わが国においてますますその重さを増してきており、スクーリングはそれを皆さんと一緒に確認する機会として、私自身も重視しています。

最後になりましたが、通信教育部に在籍されている方は、二足目、あるいは三足目の草鞋として学ばれている方が多いと思います。そうした中でみなさんの学習への努力に対し、心から敬意を示したいと思います。特に、東日本大震災の被災地にお住まいになりながら、学習を続けられてい

るみなさまからのレポートが届くと、何ともいえない嬉しい気持ちになります。そして、私自身が十分な仕事をしているのか、その度に自問自答しています。みなさんに十分な講義や評価がお渡しできるよう、改めて気を引き締めていきます。